

お客様各位

外務省より、下記の通り首都タシケント市を含む地域に「十分に注意して下さい」が発せられました（以前の危険度1 注意喚起）が、弊社主催の各ツアーに関しまして、予定通りご出発頂きます。尚、お手配旅行・自由行動（旅行）中は十分ご注意下さい。

【主催企画】

(株)ピーエス観光  
(国土交通大臣登録旅行業第 347 号)  
〒150-0004 東京都港区新橋 3-2-7  
 恭和ビル 4 F  
TEL : 03 - 3502 - 4022

【お申込み】

(株)エアークリスタル  
(東京都知事登録旅行業代 3-5400 号)  
〒160-0018 東京都新宿区須賀町 1 番地  
 サントピア四谷 1 F  
TEL : 03 - 5368 - 0951

ウズベキスタンに対する渡航情報（危険情報）の発出（2007/10/09）

- (1) タジキスタン及びキルギスとの国境付近の山岳地帯（キルギス領内の飛び地ソフ及びシャヒーマルダンを含む）：「渡航の延期をお勧めします。」（継続）
- (2) フェルガナ、ナマンガン及びアンディジャン各州（タジキスタン及びキルギスとの国境付近の山岳地帯を除く）並びにアフガニスタンとの国境周辺：「渡航の是非を検討してください。」（継続）
- (3) 上記を除く地域（首都タシケント市を含む）：「十分注意してください。」（継続）
- (イ) 2005 年のアンディジャン騒擾事件を契機として、タシケント州（タシケント市を含む）、シルダリア州、ジザク州、サマルカンド州、カシュカダリア州、ナボイ州、ブハラ州、ホレズム州及びカラカルパクスタン共和国においてイスラム過激派等による活動が活発化する可能性があるため、同地域への渡航は十分注意してください。
- (ロ) 2004 年 3 月末から 4 月初旬にかけてのタシケント市チョルスー・バザール等でのテロ事件とそれに続くテロリストと治安当局との銃撃戦及びブハラ市でイスラム過激派の爆弾製造工場と考えられる施設での爆発事件では多数の死者が出ました。さらに、同年 7 月 30 日にはタシケント市内で、米国大使館、イスラエル大使館、最高検察庁を標的とした自爆テロが敢行され、死傷者が出ました。これまで、イスラム過激派は主にウズベキスタン東部のフェルガナ盆地を中心に活動していましたが、住民の生活困窮を契機として、イスラム過激派の活動がこうした地域においても活発化する可能性が高くなっていると考えられます。滞在中は、十分留意して行動し、危険を避けるようにしてください。

また、外務省、在ウズベキスタン日本国大使館、現地関係機関等より、最新の情報を入手するよう努めてください。

（問い合わせ先）

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐に関する問い合わせを除く）

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話：（外務省代表）03-3580-3311 （内線）5140

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐に関する問い合わせ）

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311 （内線）3679

外務省海外安全相談センター

東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1

電話：（代表）03-3580-3311 （内線）2901

外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

携帯電話用：<http://www.anzen.mofa.go.jp/i/>

在ウズベキスタン日本国大使館

（所在地）1-28, Sadyk Azimov St., Tashkent, 700047

電話：（998-71）120-8060